

# 多様な人々をささえる

多様な人々が多様に活躍できる  
社会づくりをめざして



## 「健康経営優良法人（大規模法人部門） ～ホワイト500～」の認定について

課題・目的

- 労働人口の減少
- 医療費の増加
- 予防医療
- ダイバーシティ
- 働き方改革

2018年2月、経済産業省および日本健康会議が実施している健康経営に取り組む優良法人を顕彰する制度「健康経営優良法人（大規模法人部門）～ホワイト500～」に、三重県内企業で初めて認定されました。

2017年9月に制定した「百五銀行 健康宣言」にもとづき、引き続き、従業員がいきいきと働くことのできる環境づくりに取り組むと同時に、健康経営の実践に向けて、従業員一人ひとりの健康意識の向上に努めていきます。



2018  
健康経営優良法人  
Health and productivity  
ホワイト500

## スポーツ大会への協賛

課題・目的

- ダイバーシティ
- 社会格差
- 地域活性化

2018年3月に、伊勢市で開催された障がい者スポーツ「ボッチャ」国際大会のスポンサー企業として大会を応援しました。

また、毎年、鈴鹿アンリミテッドFCが主催するU-9キッズサッカー大会「百五銀行CUP」や、津卓球大会が主催する「百五銀行杯争奪卓球大会」などにも協賛しています。



## 職業体験イベントへの参加

課題・目的

- 金融リテラシーの向上
- 労働人口の減少

金融経済教育の普及活動の一環として、三重県主催の職業体験イベント「三重ジョブ キッズキャラバン～アウトオブ キングダム～」に参加しています。

2018年2月に、伊賀市で開催された「三重ジョブ キッズキャラバンin 伊賀」でも、当行の仮想店舗を設置し、窓口業務などを体験していただきました。

当行は、これまでに4会場（伊勢市・亀山市・桑名市・伊賀市）で設置し、のべ72名の小学生が銀行窓口業務を体験しました。



## ボランティア活動への参加

課題・目的

- 震災復興
- 新興国の貧困問題

2017年10月、セントヨゼフ女子学園主催のボランティア活動「ウォーカソン」に参加しました。本活動は、事前に家族や知人にスポンサーとしての協力を呼びかけ、各自が歩いた距離（最長10km）に応じて、寄付をするというものです。

集められた募金は、毎年、東日本大震災の復興資金やシエラレオネ・フィリピンなどに住む子どもたちの教育資金などに活用されています。

